

Professor Russell Berman

- 大学は元々保守的なもの、国際化は初めての大きな変化
- 大学は国からの大きなサポートを受け国際化とのバランスが必要
- 海外派遣は世界をより詳しく理解できる意義がある(学部生の60%が海外へ)
- 第2言語を学ぶと外国をより理解できる。米人の80%は英語のみ
- 横への広がりを持つこと一専門を超えた知識、相違と付き合う
- 外国からの技術系大学院生への支援: スタンフォードの文科系学生が支援
- スタンフォード・チャレンジの中に国際化が入っている
- 新しい研究への資金供給、新しいコース、国際問題の研究
- より重厚な多民族性が重要: 各自が米国で学んだことを母国に持ち帰ること